

季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗（本門流）
本覺山妙壽寺が発行する寺報です。
檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。



本覺山 妙壽寺 〈法華宗（本門流）〉
〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1
電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427
ホームページ <https://www.nyojyujji.or.jp>



ワレコラム No.16

終戦80年を迎えて

今年、終戦80周年を迎え、各地で慰霊供養が行われることになる。顧みると、住職拝命の昭和50年代半ばは多くの明治・大正生まれの方がおられ、「明治は遠くなりにけり」と言われたが、昨今は、昭和が遠く感じられる。特に十代二十代の頃は、戦争中のことを毎日のように聞いていたように思う。兵士として戦争に参加した方々の話、内地では空襲や学童疎開の事など、多くの体験談を聞いたものだった。戦争を取り上げた児童文学の金字塔である『ガラスのうさぎ』（金の星社刊）は、当山も舞台となる名著であり、著者の高木敏子さんには30年前の五十回忌には当山本堂での講演により、多くの参拝をいただいた。高木さんは現在も櫻籙として、小職にお便りをいただく。終戦80周年にあたり、お子さんお孫さんにご一読をお勧めしたい。

来る3月10日は、両国・東京慰霊堂で恒例の春季例大祭が行われ、秋篠宮両殿下も参拝される。9月1日は、関東大震災の秋季慰霊法要、彼の地は被服廠跡地で多くの方々が亡くなられた場所である。

阪神淡路・東日本の両大震災、昨年元旦の能登半島地震等を目のあたりにし、仏教寺院僧侶としての役割は「供養と祈願」であるという感を益々強くするところである。それに加え、てさらに少し踏み出して社会に貢献する場でもあるべきだと考えるものである。

鴉 鵲



元旦に御会式桜（十月桜）から望む正隆廟

「酒井抱一のパトロン・永岡成美」(上)

同志社大学 京都と茶文化研究センター 宮武 慶之

1 はじめに

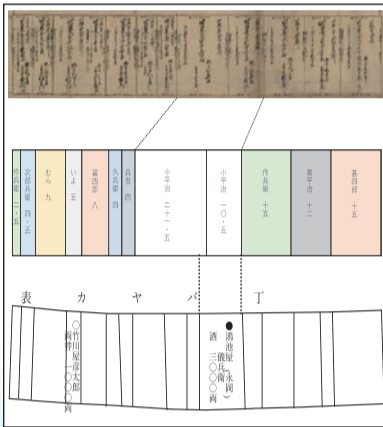
抱一研究でしばしば目にすることがある永岡家。しかし実像については詳しくわかっていません。現在、出光美術館が所蔵する抱一筆「ハツ橋図屏風」は永岡家の依頼とされていますが、伝承の域を出ないのが実情です。特に永岡家が重要な点は、長次郎作銘「一文字」（重文 個人蔵）、原遊斎作大菊蒔絵銘「山路」（北村美術館蔵）などを所蔵し、優れたコレクションを形成した点です。また調査により抱一と親しくし、優れたコレクションを形成したのは鴻池屋4代目永岡成美であると分かりました。つまり江戸の新たなコレクター像を紹介するとともに、抱一との年齢差36歳も年下であり、必然的に植え付けた種とは何かを解明したく、この度、淡交社より2024年秋に単著を発刊する運びとなりました。

2 鴻池屋永岡家

永岡家は鴻池屋を名乗った江戸の地廻り酒問屋です。地廻りとは、江戸近郊の物産（主に米、味噌、酒など）を扱う商人。永岡家は当初、米を中心に扱っていましたがその後は、酒を主に扱うようになり、江戸で相当に富裕な町人となっていました。

冒頭でも紹介した出光美術館が所蔵する「ハツ橋図屏風」ですが、こちらの本歌作品は江戸の材木商冬木屋が所持していました。そこで従来の説を採用せず、新たに、永岡家と冬木屋の関係を立地条件という点から明確にしようと試みました。まず鴻池屋永岡家は南茅場町に立地しました。一方の冬木屋も承応3年に南茅場町で創業しています。そのため沽券資料から立地場所を明確にしたところ（図）、冬木屋の跡地に鴻池屋が立地しており、まさに「巨商を募う姿」が確認できたこととなります。このことは美術品を収集する点でも非常に大きなマインドと判断されます。（次号へ続く）

*本書の主人公である永岡成美は当山檀家であります。
*本書をご希望の方は当山受付までお申し込みください。



● 2月19日
● 2月17日

● 2月13日
● 2月5日
● 2月2日
● 1月29日
● 1月26日
● 1月25日
● 1月23日

● 1月23日
● 1月22日
● 1月22日
● 1月20日
● 1月19日

● 1月18日

● 1月18日
● 1月17日
● 1月17日
● 1月16日
● 1月14日
● 1月12日
● 1月11日
● 1月1日

● 12月22日
● 12月21日
● 12月4日

久保木日將猷・管長推薦式 於同大本山
山中輝代さん納骨法要① インター・掲載
お焚き上げ法要・大掃除
西澤・中村（後）両氏歓送迎会
於新橋・新橋亭
元旦国禊会
正隆会初題目
遠州流初釜式
江戸千家初釜式
東京都仏教連合会・全日仏会合
宗教法制研究会
裏千家淡交会互礼会
総代会・年頭会祈願法要②
世話人委嘱・早苗邦浩氏（右）、好川
弘一氏（左）、好川浩二郎氏の3名③
森昌子刀自（当山婦人会・正隆会皆出席）逝去・逆修 常行院妙隆日昌大姉
22、23日猿江別院にて通夜葬儀④
第24回納骨堂建設委員会
東京教区新年会
於銀座アスターお茶ノ水賓館
鳥山仏教会先師追悼会・総会
東京都仏教連合会監査会
東京ブレイズクラブ創立会員
安田松慶堂安田松慶会長逝去
同28日通夜、同29日葬儀
於増上寺光猷殿
日本青年会議所宗教部会
世田谷文学館主催勉強会「鍋島客殿」
宗務院主事補・渡辺寿雄師結婚式
於千葉・住本寺・リソルの森
全日本仏教会新年会 於京都ホテル
節分法要⑤
東京都仏教連合会常務理事会
14日
房総団参（宗祖日蓮大聖人「報恩抄」述作750年宗祖旧師道普房750遠忌記念⑥
東京都仏教連合会理事會
仏教懇話会（主催・全日本仏教会）

寺日記

てらにつき



猿江別院
御写経会
4月3日(木)・6月5日(木)

参加費:500円
※毎回、木曜日 13時~19時

猿江・猿江別院
2月13日写経会



俳句事始
師走 睦月

銀杏の黄ライトアップに勝りけり
店先の柚子に湯けむり想い見る
先達の通夜の時雨は霧となる
番傘の斜め手に行く小雨時雨
拉麺の湯気は時雨に消えにけり
暖かきメロンパン買う時雨道
時雨知る戻りし犬の水溜に
着膨れの満員電車胸リユック
白骨の露天の先に氷柱あり
七草の粥に寛ぐ胃の腑かな
鶴 鵲

日短かやシルエットなり松手入れ
新庭園坂本氏



清澄山・宗祖ご師匠・道善坊ご墓所前法要の後、テントは寒冷強風で取り外した

当住上人の
宗務院 DIARY

12/18・1/8・2/12 内局会議
12/18 責任役員会議
1/8 宗務院御用始め・本山学林連絡会議

法要のご案内 (別紙参照)

3月20日(木・春分の日)
春季彼岸中日法要
初 座:午前11時
第二座:午後2時 動物諸霊法要:正午

4月19日(土)・20日(日)
つっし
躰躰祭 鍋島客殿2階開放

5月2日(金)
猿江稲荷大祭法要 午前11時 猿江別院

7月16日(水)
孟蘭盆会施餓鬼法要 午前11時 新孟蘭盆会法要(新盆)
正午 動物諸霊法要
午後2時 孟蘭盆会法要

新規墓所
ご案内

3尺×4尺=6基
3尺×3尺=6基
2尺×2尺=8基

詳細は当山までお問い合わせください。

正隆会
【SHORYU-kai】
午後2時開催

月例講
ご案内

当山では、毎月第2土曜日午後2時より月例講正隆会を開催しております。仏教や法華経についての勉強会や写経会、またウォーキング課外活動を行っています。檀信徒、ご友人どなたでも参加できます。例会では、毎回1時半より正隆廟墓前法要を奉修しております。

3月10日(月)	終戦80周年・東京慰霊堂参拝
4月12日(土)	勉強会「法華経への誘い」拝読11
5月2日(金)	猿江稲荷大祭法要 11時 猿江別院
6月14日(土)	勉強会「法華経への誘い」拝読12
7月5日(土)	勉強会「法華経への誘い」拝読13
8月	勉強会 休講

